

# 「設備・電気部門におけるメンテナンス体制の改善について」 検証・説明団交開催される



(組合員の購読料は組合費に含まれます)  
港区新橋5-15-5 交通ビル  
国労東日本本部  
発行責任者 高野苗実  
編集責任者 伊藤隆夫

No. 700 定価 20円  
2010年 7月 31日

第2回組織拡大標語  
最優秀作品  
今日も笑顔で 一声かけて  
一人一人が 組織拡大

http://www.e-nru.com  
携帯用ホームページはこちらのQRコードから

JR東日本から1月15日に提案された「設備・電気部門におけるメンテナンス体制の改善について」の検証・説明を求め、団体交渉が7月7日と9日に開催されました。申9号に対する文書回答はされましたが、「設備メンテ」9年の検証を活かし、引き続き、提案に対する基本要件を作成し、JR東日本に回答を求め、要求の前進に向け奮闘しましょう。

## 見直し提案が明らかになる

提案された施策の概要は、「設備・電気部門におけるメンテナンス体制については、より高度な技術への対応と確かな技術力に基づく鉄道システムの安全レベルの向上、技術継承と設備メンテナンス総量の縮減をめざしてきた」として「引き続き、設備強化・自動化・装置化、メンテナンス作業の機械化等を積極的に進めるが、「次代を担う若手社員へ、より確実に技術力を継承できるよように、教育担当者の配置や新入社員に対する研修の充実等により人材育成の強化を図る。」、さら

「工事立会の拡充や検査業務分担の一部変更」、「工事の簡素・平準化等」により、技術力の維持向上、障害早期復旧及び、より効率的な仕事の進め方を実現する。」としていいます。施策の概要からうかがえることは、現状では①次代を担う若手社員へ技術継承が進んでいないこと②工事のあり方や検査業務分担に問題があったこと③技術力の低下等から輸送障害が早期に復旧できなかつたこと、等の問題点が浮き彫りとなり、全体的に「設備メンテナンス再構築」を見直す方向での提案であることが鮮明になっています。

## 設備メンテ9年の検証が活かされるように

国労東日本本部は、JR東日本からの提案を受けてきたに「検証」を求め、提出する準備を始めましたが、工務協議会、電気協議会からの強い要望で、「設備メンテナンス再構築」の施策から9年が経過する中で、相次ぐ重大な輸送障害やパートナー会社社員の死亡事故多発など、設備関係に起因する問題点が数多く指摘されている状況を踏まえ、2年間かけて練り上げた申9号(国労東日本申第9号2009年11月18日付)に基づく検証がされないまま、新たな提案の交渉には入るべきではないとの立場から、申9号の文書回答を求めました。4月20日にJR東日本から文書回答が示され、必ずしも納得のいく回答ではありませんでしたが、示された文書回答を踏まえ、関係職協の協力を得ながら検証と

団体交渉は、電気関係、設備関係を別々に行うこととなり、交渉委員も東日本本部の交渉委員を二人に絞り、残り八人はそれぞれの職協から出席してもらいました。交渉では、申29号に基づき、「設備メンテ」9年の検証を求める要求を前面に出し、交渉時間3時間半のほとんどを検証要求の議論に費やしました。

JR東日本の回答は、国労側が考える「設備メンテ」9年の検証に対する

東日本本部としては、設備・電気関係職場で働く仲間の労働条件の改善に向け、工務・電気職協と連携を取りながら、さらに奮闘する決意です。

## 第3回組織拡大標語募集

貴方の組織拡大に向けた「思い・決意」をスローガンに!



もう一人の仲間を国労に

国労はあなたを歓迎します

### 応募作品

組織拡大運動のさらなる高揚を目的としたスローガンのもの

- ①他労組組合員等に呼びかける組織拡大標語
  - ②国労内部を対象とした組織活性化に向けた組織拡大標語
- 最優秀作品1本、優秀作品2本、入選若干数

### 応募方法

メールで、アドレスは nru.east1@apost.plala.or.jp  
パソコンの方は、ホームページからも送信できます。

### 応募期間

8月20日まで

### 作品発表

第24回東日本本部定期大会  
(国労東日本本部執行委員会にて選考します。)

再構築」の施策から9年が経過する中で、相次ぐ重大な輸送障害やパートナー会社社員の死亡事故多発など、設備関係に起因する問題点が数多く指摘されている状況を踏まえ、2年間かけて練り上げた申9号(国労東日本申第9号2009年11月18日付)に基づく検証がされないまま、新たな提案の交渉には入るべきではないとの立場から、申9号の文書回答を求めました。4月20日にJR東日本から文書回答が示され、必ずしも納得のいく回答ではありませんでしたが、示された文書回答を踏まえ、関係職協の協力を得ながら検証と

団体交渉は、電気関係、設備関係を別々に行うこととなり、交渉委員も東日本本部の交渉委員を二人に絞り、残り八人はそれぞれの職協から出席してもらいました。交渉では、申29号に基づき、「設備メンテ」9年の検証を求める要求を前面に出し、交渉時間3時間半のほとんどを検証要求の議論に費やしました。

JR東日本の回答は、国労側が考える「設備メンテ」9年の検証に対する

東日本本部としては、設備・電気関係職場で働く仲間の労働条件の改善に向け、工務・電気職協と連携を取りながら、さらに奮闘する決意です。

**訂正とお詫び**  
699号に掲載した写真の氏名で「坪井さん」と掲載しましたが、「新津さん」の誤りでした。訂正しお詫び致します。

# 明るく元気に学習交流会

## またがんばろうー

**東日本婦人部**



7月3日から4日、宮城県気仙沼市、気仙沼プラザホテルにおいて第20回国労東日本本部明るく元気に学習交流会を開催しました。まず、高野東日本本部委員長から不採用問題の現状、情勢報告を受け、前気仙沼市議の山崎睦子さんの講演に入りまし。自治労、保育園職場の出身で組合嫌いだっただけという本人が組合と関わり、政治活動に入っていく話が、自身の経験から語られました。人として生きて、人間らしい生活を送るには、喜怒哀楽をはっきりだすこと、自分の思っていることをはっきりとださないといけない、取れる物が少ないからと労働組合に結集しない方もいるが、皆で支えあうため、今こそ労働組合が必要である、国鉄闘争

も支援してきた、国労の闘いに学んだこともたくさんある、御年73歳の力強い語りには皆元気をもらいました。

職場実態の報告と交流では、新幹線、新青森駅開業に伴い明らかにされないこれからの職場への不安、これからエルダーに向かうにあたっての面談や希望の取り方に対する不満や不安、エルダー職場のひどい実態、育休明けで復帰した女性社員に対する両立支援制度とは名ばかりの、本人の意向を無視した勤務変更や、制服に対する不満など多くの報告、意見が出されました。

### 全員で合唱 国労組合歌

夕食時の交流では、職場以外、家族の近況など、幅広い話で盛り上がり、全員で腕を組んで「国鉄労働組合歌」を合唱し、団結ガングローを三唱しました。又、エルダー社

# 国労議員団 関東ブロック 総会を開催



国労議員団関東ブロック（水戸、千葉、東京、高崎、新潟、長野の各地本議員）の総会は、高崎地本の担当で4月18日から19日まで群馬県草津で開催されました。

地本の代表6名そして、東日本本部より委員長、書記長、さらに国労本部書記長の参加の出席で、合計25名が集まりました。

事務局長の河野達男新宿区議の司会で始まり、議員団長の佐藤洋二日野市議の挨拶、国労東日本本部高野委員長、開会地本の横塚高崎地本委員長と大野貞義安中市議の挨拶を受けました。

その後、国労本部浜中書記長より、JR不採用事件解決について、最も新しい経過も含め、解決への動きの状況報告を受けました。

さらに国労東日本本部の松井書記長より、JR東日本を合わせ、地元名産のふかひれスープを送りました。婦人部15名、OB4名、計19名の参加でした。「気が持がすっきりした」「また頑張ろうと思った」という感想も聞こえ、これからも継続して開催できるように努力していきたいと思ひます。

における効率化施策について、偽装請負について、組織強化・拡大の取り組みについて、報告をいただき若干の質疑も行いました。

JR採用差別問題は、24年目に入り、もはや先のぼしは許されません。雇用問題の前進とともに早急な解決が求められます。

次に、参加各議員から自分の自治体での課題や問題、議会活動の報告などを出し合いました。議会改革の取り組みで通年議会や政策立案委員会を設置した報告、定例会では必ず質問を行い、その報告を市民に知らせる行動など、各地ががんばっている活動報告がありました。

2日目の19日は、高崎地本議員団と群馬県議の角倉さんの案内で、八ッ場ダムの見学を行いました。

草津温泉から流れる強酸性の水を中和させるための石灰流入現場とその下流で堆積した石灰を排出するための品木ダム、そして問題の八ッ場ダム甲予定地である、川原湯温泉や水没予定地区、代替居住予定地などを視察し、あらためて計画の問題点や公共工事中間点を身近にし、壮大な無駄と自然破壊を目の当たりにし、八ッ場ダムは中止するしかないことを強く感じました。

4月18日投票の千葉県長生村議会議員選挙で、現職の山口さんと新人の増子勇男さんが当選し、国労関東ブロックの議員団が1名増えました。

来年度は、4月に統一自治体選挙があり、秋に水戸地本の担当で開催することを確認し解散しました。

（新宿区議）



がん予防・検診から治療まで、とことん支援！

健康支援金をプラス！  
通院も入院も同額保障に！

がんの保障 病室・ケガの保障  
21世紀がん保障 目的MAX21

健康支援金MAX  
メディカルチェック+

アベニール 株式会社  
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F  
☎03-3437-6810 ☎03-3437-6822

アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)  
東京第三営業本部 第三支社  
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル  
Tel.03-3344-1889 Fax.03-3344-4036

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。  
詳しくは、パンフレットや「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。